

2025 年 4 月 15 日
特定医療法人南山会

医療業界での人材不足の課題解消に 事務作業を自動化するロボット技術・RPA を導入 医療サービスの質の向上と誰もが働きやすい環境整備を目指して

「その人らしさをともに創造する」をビジョンに掲げ、精神医療や福祉サービスを提供する特定医療法人南山会（本社：山梨県南アルプス市、理事長：川崎洋介、以下「当法人」）は、2024 年 10 月にオープングループ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高橋 知道）の子会社であるオープン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：石井 岳之、以下「オープン」）の RPA ツール「BizRobo! Lite」を導入し、2025 年 4 月 11 日より検証を開始したことをお知らせします。



■従業員の働きやすさの維持・向上を目的に、業務の DX 化を図る

「ロボティック・プロセス・オートメーション(Robotic Process Automation)」、通称 RPA は、これまで人間が行ってきた PC 業務を、ロボットが代行・代替する取り組みです。人間が行ってきた作業をソフトウェアロボットが代行するため、そのはたらきから別名「仮想的労働者（デジタルレイバー）」とも呼ばれています。

今 RPA は、日本が抱える 2025 年問題といわれる人口減少問題を背景に、様々な業種・企業へ広がりを見せています。日本は将来的に、高齢化や総人口減少による生産年齢人口の急激な減少に伴い、人材不足が深刻化していくことが予測されています。人材不足は従業員の一人ひとりの業務量の増加を引き起こし、長時間労働の助長や、業務パフォーマンスの低下、労働環境の悪化による離職等へ繋がります。

山梨県で精神科病院や障害者地域活動支援センターなどを運営する当法人も例にもれず、人材不足への対応は取り組むべき課題となっています。

そこで、当法人では、人材確保、また、従業員の働きやすさの維持・向上を目的に、業務の DX 化を検討することとしました。

■レントゲン検査・クリニカルパスの実績集計など、幅広い業務への導入を検討

RPA は、医療業界でも取り入れられ始めていますが、医療では多くの個人情報を取り扱うため、他業界に比べて導入が進みづらい傾向にあります。当法人においても、個人情報保護についての懸念がある中で、オープン社による医療業界での RPA の活用事例を参考にしながら、導入への検討を進めてきました。

当法人では、2024 年 10 月の RPA ツール「BizRobo! Lite」の導入を皮切りに、開発者 5 名を中心とした合計 10 名による RPA 導入プロジェクトを設置。RPA についての学習や、各部署での活用できる業務の洗い出しを行ってきました。その結果、心電図やレントゲン検査等の定期検査のアラート、クリニカルパスの実績集計、退院サマリ等のチェック業務、月次収入計上等、部署や職種に関わらず幅広い業務への導入検討が進められています。

■RPA 導入により、人にしかできない医療・介護の仕事に集中

RPA の「人が行う作業をロボットが代替できる」という機能は、様々なメリットを生みます。人材不足をカバーできるだけでなく、ヒューマンエラーの防止、24 時間 365 日稼働ができることによる生産性や業務スピードの向上がその代表といえるでしょう。更には、業務改善にて生まれる余剰時間によって、『人にしかできない仕事』に注力が可能となり、私たち医療・介護・福祉分野においてはサービスの質の向上へと繋がる大きなメリットとなり得るでしょう。

当法人でも、今まで人によって行われてきた膨大なデータを扱う作業や、定例の事務作業を自動化することにより、人にしかできない仕事に注力できる環境が整えられつつあります。人にしかできない仕事、すなわち患者・利用者への対応に時間やエネルギーを注げることにより、医療・介護・福祉サービスの質や接遇の向上が図れるでしょう。患者・利用者の満足度、治療や療養の充実感も高められ、それが従業員へのやりがいにも繋がり、患者・利用者へ還元される…といった好循環を生み出すことも期待ができます。

また、RPA による事務作業の自動化・効率化は働く従業員の業務負担や長時間労働の軽減をもたらし、働きやすさを創造することで、当法人が目指す「職員がいきいきと働き、地域に幸せを提供できる」職場作りの実現に近づくといえます。

今回の RPA による業務改善の促進は、地域に暮らす働く側と利用する側への『幸せ』のための第一歩といえます。サービスの質を高め、地域から選ばれる法人になるとともに、法人を利用する、または法人で働く地域の誰もが『幸せだ』と思える世界の創造を進めて参りたいと思います。

■ 会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
- 【設立】 1957 年 7 月 2 日
- 【代表】 理事長 川崎 洋介
- 【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
- 【事業内容】
 - 精神科病院 峡西病院
 - 障害者地域活動支援センター きがる館
 - 訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
 - 介護老人保健施設 峡西老人保健センター
 - 就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム

【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

＜お問い合わせ先＞

特定医療法人南山会

TEL : 055-282-2151 (代表) 055-244-7715 (直通) FAX : 055-284-4886

担当 : 川口